

まち・ひと・しごと地方創生総合戦略ってなんだ？

石破地方創生担当大臣が陣頭指揮に立って、全国の市町村に27年度中に「まち・ひと・しごと地方創生総合戦略」を策定し、国に提出するように求めています。

明和町が商工会を通じて発行するプレミアム商品券もその一環です。国は自分で考えろと言う事と裏腹に、プレミアム商品券の発行を町に義務づけております。

町では6月30日締切で申し込むように広報でお知らせしましたが、申し込みが少なく近々2次募集を行います。1万円が1万3千円分に使える夢のような商品券です。町が3千円分補助します。3,000セット売りますから9百万円のプレミア分を町が負担します。(国の補助です)

昔、ふるさと創生交付金がありました。どこの市町村にも1億円をばらまいた竹下総理の時代のあれです。今回は、商品券までは国の案ですが、その後のことは市町村が考えて計画を練って良かったら補助金を出しましょうという言わば、承認試験に合格したらその計画に見合う分を国が保証しようというものです。

ローカル・アベノミクスと言われています。その狙いは

1. 地方経済を活性化し、若者や働き盛りにとって魅力あふれる職場を生み出す。
2. 人材と資金が積極的に地方に行き渡り活力ある日本経済を取り戻す。

地方を元気にして、人口減社会から人口増社会へ転換できる経済を取り戻すことにあります。政府の狙いどおり地方が活性化出来るかどうかですが、我が明和町の活性化を目指して企業誘致、川俣駅前整備事業、122号バイパス工事、その他諸々を今盛んに行っております。明和町の活性化策が国の事業と相まってさらに加速し進展が出来るよう今、地方創生総合戦略作りに励んでおります。

平成27年 7月 7日

富塚もとすけ